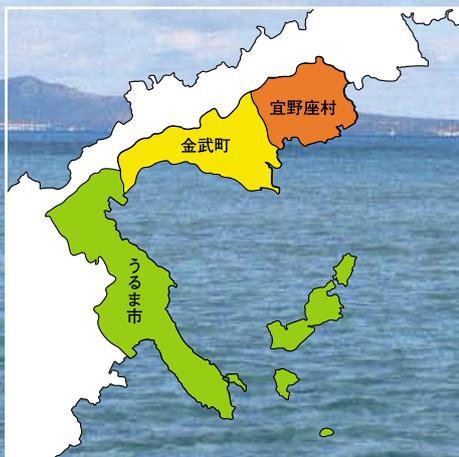


特集／健康長寿の叡^{えい}智^ちを沖縄から世界に

環金武湾振興 QOLプロジェクト

金武湾を望むうるま市、金武町、宜野座村では、平成14年から「環金武湾振興 QOLプロジェクト」として、3市町村共同の地域振興に取り組んでいます。今回は、沖縄の健康長寿の知恵と地域の資源を生かしたうるま市の取り組みを紹介します。

※QOLは Quality of Life の略で、生活の質・生命の質・人生の質のこと



エネルギーのアジマアから、健康・長寿・美のアジマアへ

美しい太陽が昇る金武湾は、昔から豊かな漁場として知られ、日用品や薪を積んだマールラン船（山原船）が行き交う”海の交差点“として栄えてきました。

戦後は、石油基地や火力発電所が立ち並び、沖縄県民のエネルギー基地としての重要な役割を担っています。金武湾は、いわば今も昔も変わることなく、暮らしを支えるエネルギーの行き交うアジマア（交差点）なのです。

これからは、金武湾をとりまく3市町村がそれぞれの地域の特性を活かしながら、健康と長寿と美のアジマアとして生まれ変わろうとしています。このプロジェクトは全国に先駆けて、金武湾という大きな海をキーに、歴史や自然、文化など、多くの資源を共有してきた3市町村が、複合的に連携を図りながら、より自立した経済や産業を構築していくためのものです。